

# 1団体3個人に特別賞 県高文連

青森高校放送委員会の(左から)山本梨愛さん、山口萌花さん、濱田壮志さん(いずれも2年)



県高校文化連盟(千葉栄美会長)は17日までに、高校文化活動の全国大会で顕著な成績を収めた1団体3個人に特別賞を贈った。受賞者たちが本紙取材に対し、将来に向けたさらなる成長を誓った。

国高校総合文化祭放送部門ビデオメッセージ部門優秀賞・文部科学大臣賞(第1位)の青森高校放送委員会第72回NHK杯全国高校放送コンテストアナウンス部門優勝の榎本杷留さん(八戸聖ウルスラ学院高3年)、

第40回全国高校文芸コンクール短歌部門最優秀賞・読売新聞社賞の十枝内悠翔さん(八戸西高3年)、第44回肢体不自由児・者の美術展/デジタル写真展文部科学大臣賞(特賞)の小山内龍弥さん(青森第一高等養護学校3年)。



小山内 龍弥さん



十枝内 悠翔さん



榎本 杷留さん

今月3日に青森市で予定していた表彰式が大雪のため被表彰者の安全面を優先して中止となり、各校に賞状や盾が届けられた。青森高校の放送委員長・山口萌花さん(2年)は取材に「先輩たちに少しでも追いつこうと努力してきた。それが評価された」と喜び「日々の活動を大切にNHK杯全国高校放送コンテスト出場に向けて努力を続けたい」と目標を宣言した。

榎本さんは「3年間放送に頑張ってきたので、こうした形で表彰してもらい、うれしい。進学先で新たな経験を積み、自分のやりたいことを見つけたい」、十枝内さんは「本格的な制作は文芸部に入部した昨夏から。半年の活動だったが部員のみんなが教えてくれた。表現力が上がった。今後も積極的に文学や文芸に触れたい」、小山内さんは「自分の力で書いた作品が認められてうれしい。卒業後も書道が続け、一高養の書道部コーチを狙いたい」とそれぞれ述べた。

(長谷川恵子)

この画像は当該ページに限って  
東奥日報社が利用を許諾したものです。